

第8回 安芸高田市総合計画審議会議事録

第8回 安芸高田市総合計画審議会	
日時	2026年02月02日(月) 午後2時から午後4時
場所	安芸高田市民文化センターマルシンクリスタルアーゴ小ホール
出席者	別途委員一覧参照
資料	<p>【資料1】 今後のスケジュール</p> <p>【資料2】 パブリックコメントの結果</p> <p>【資料3】 パブリックコメント以降の主な変更点</p> <p>【資料4】 第三次安芸高田市総合計画基本計画(確定案)</p> <p>【資料5】 第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(確定案)</p> <p>【資料6】 シンポジウム企画概要</p> <p>【参考資料1】 第3次安芸高田市総合計画一式</p> <p>【参考資料2】 第3次安芸高田市総合計画概要版</p> <p>【参考資料3】 シンポジウムチラシ</p>

発言者	議事内容
	パブリックコメントの結果【資料2】
A委員	3ページの1のところ、対応のところ、適切な目標値を設定することが難しいとあるのですけれども、これはどういうことなのか、もう少し説明いただいてもよろしいですか。
事務局	この指標が、今回初めて調査した結果で、例えば、4年間でどの程度この割合が増えるものなのかとか、過去、例えば、4年前に実施していたら、4年間で大体どのぐらい市民のこの割合が増減するかというトレンドが分かっていたら、おおむね4年後、こういう政策をすれば何ポイントぐらい向上させることができる、みたいな適切な目標値も設定できるかなと思うのですが、一時点だけのデータしかないため、適切な目標値の値を設定することが難しいかなという意味合いで書かせていただきました。
A委員	それは書いてあるとおりのことをおっしゃっているのですけれども、例えば、ここで例として出ているのは、私の暮らしている地域の行政は地域のことを真剣に考えていると思うと回答する市民が15%しかいないことについて、これでいいのだろうかというような、問題視すべきではないのでしょうかというようなご意見だと思います。これについて、この15%というのが妥当なのかどうかということについて問われているわけで、果たして妥当と言えるのか。これでいいと言えるのかというようなところだと思うのですけれども。
事務局	現状では15%という数字が妥当かどうかというのは、判断ができない。あるいは行政としては、低いのだろうというような予測ではありますが、毎年、このアンケート調査を実施するという計画がございますので、その指標を見ながら、目標数値の変更を柔軟に行っていきたいと考えています。

会長	今、ご指摘いただいたところは私も気になっていて、今日まとめていただいたこのパブリックコメントのいただいた意見の対応というのは、これはどの段階で市民の方にお返しすることを予定しているのでしょうか。
事務局	本日の審議会を受けて、ホームページ等での公表を考えております。
会長	であれば、対応のところでひとまず、今回の基本計画では現況値の目標値としてとか、これまでのトレンドがないから、妥当な目標値が設定できないだとかいうエクスキューズが市民の方に伝わるのだったらいいかなとは思いました。 もし、ちゃんと対応するのであれば、おそらく本文のほうに、ひとまず目標、現境値以上と書いてあって、そこに注釈を入れて、今後フォローアップをして目標値を設定していきますというのが入ると、もっと丁寧になるのかという気はします。ひとまず、この対応のところに書いてあるから、それでもいいかなと思いました。
B 委員	最後のページの総合戦略素案への意見と対応というところですけども、ここは意見として賜り、今後の検討の参考とさせていただきますということ。ここは非常に重要なところだと考えているところです。それに対しては少し対応が弱いのではないかと私は思うのですが、いかがでしょうか。
事務局	総合戦略のところについては、おっしゃるとおり、この若者に選ばれるまちづくりというところは非常に重要なポイントだと思っておりますが、今回の総合戦略のところに書いている内容というのが、関係課の協議もしてもらった上で、具体的にここまでなら、今後、向こう4年間の間で実施するというものではありませんけれども、当面、具体的に書くとしたら、このくらいであれば、齟齬なく実施できそうなものだとすることを記載している。それを超える部分、さらに具体的に書いたものがご意見としていただいているものとなると思いますので、ここまで書き込むかどうかということについては、関係課との調整が必要なものになると思いますので、これも意見として、この審議会の中で意見があったよということに関係課のほうに伝えて、具体的に書き込める状態になったら書き込んでいくという形にさせていただけると思っています。
B 委員	どういう方向を目指していくかというか、この問題は重要であるというところ。これはどこかできちんと押さえておいていただきたいと考えています。
事務局	分かりました。この対応のところに、このように考えているが、少し丁寧に、対応のところに書き込むということかと思っておりますので、そのようにさせていただきます。
会長	そういう意味ではご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきますという内容が結構多いので、少し塩対応っぽく、私は見えてしまって、そういう意味では、関係各課とも共有しとか、そういう文言があったほうがいいのかという気がしますので、その辺検討いただければと思います。
パブリックコメント以降の主な変更点【資料3】	
C 委員	話を蒸し返して申し訳ないのですがけれども、先ほどのパブリックコメント、資料2のパブリックコメントの結果ということで、意見を皆さんから集めて、その対応を5ページで載せて、皆さんにしてもらおうということなのですね。会長がおっしゃったように、

	<p>今後の検討の参考にさせていただきますというような、非常に、塩対応という言葉が使われましたけれども、私もそう思います。果たして、せっかく意見を挙げていただいた方が、これを見られて、分かったよと感じられるでしょうかね。私は、大きな疑問があると思います。</p> <p>対応というのは、書かなければいけないのでしょうか。意見が出て、それを反映したものが反映したものが、この基本計画に反映されますよと。今、この基本計画のこれですね。これが結局見出しでしょう。この例えば、その3番のところの③に当たるとかいうふうに関連づけて説明したほうが、意見をも出された人が文かりやすいのではないかと思うのですよね。これを見てどういうふうな施策、政策手段に至ったのかというのに結びついていくのではないかと思うのですけれどもね。どうなのでしょう。分かっていますでしょうかね。</p> <p>パブリックコメントでいただいた意見を受けて、計画の、要は文書を直した部分が今回はないので、このような書きぶりに、対応という形でしか整理ができなくて。もしいただいた意見で直す部分があれば、その部分を対応のところに書くと思うのですが、要は、直していませんので書いていません。塩対応の部分については、少し丁寧な書きぶりを加えた上で対応をしようと思っておりますので、今後のところに、どのような形で、どういうふうな手順でというふうなところも少し分かるようにしていきたいと思っております。</p> <p>先ほど説明した資料3のパブリックコメント以降の主な変更点というのは、その意見があった、なかったということではなくて、こちらのほうで、前回の審議会後に少し変更するという部分があった中で、少し皆さんにお伝えしたほうがいいなという部分についてお伝えをさせていただいたというのが資料3ということになります。</p>
事務局	<p>そういう意味では、かなり個別具体的なご意見が多いので、これをそのまま総合計画だったり総合戦略の中に書き込むには具体的すぎるので、それはおそらく別の計画だったり、毎年行われる事業だったりの中で書いていくのだと私は認識しています。多分、事務局もそうだと思うのですけれども、総合計画の中にここまでのことは書けないということはもちろん分かるのですけれども、こういう内容は総合計画のこの部分で実は想定をされていて、その結果、これから先の具体的な計画をつくる段階で考えていくので、その際の検討とさせていただきますとか、対応の文書を丁寧に書いてあげたほうがいいのかと思いました。事務局から今、ご回答ありましたように、総合計画の中に書くのにしてはかなり具体的なことをおっしゃってくださっているので、そこまでは書けないといった状況もあるので、そういったところを少し丁寧に書いていただければ、ご理解はいただけるのかなと。先ほど事務局のほうからも回答ありましたように、少しこの対応の部分の書き方を丁寧にさせていただいて対応するというにすればよいかなと思った次第でございます。</p>
会長	<p>資料3。2つ目は分かったのですけれども、1つ目と3つ目で、1つ目のその目標指標に職員研修回数を新規追加とあるのですが、これはなぜ追加したのかという理由を説明していただきたいのと、最後の、目標指標から削除しているのですけれども、これはなぜ削除しているのか。県立高校は県の所管だから削除しますというのは、それは消極的過</p>

事務局	<p>ぎるのではないかなと思っていて、例えば、竹原市だと、竹原高校と忠海高校を1つにする方向で県に提案をする、みたいなことをされていますので、そういう意味では、県立高校は県の所管だから市は関係ないですという考え方は、あまりよくないのではないかなと思うのですが、そのあたりの事務局の考え方を教えていただきたいと思います。まず1点目の職員研修の回数を増やしたのにつきましては、今後のDXの関係の研修等の推進をしっかり図っていきたいという職員総務課の今後の研修計画がございますので、それに基づきまして、指標により進捗を管理していききたいということで増やしております。</p> <p>政策目標の、高校の志願倍率等につきましては、高校との連携といいますか、こういった目標数値を記載してもいいかというのは調整ができなかったということで削除させていただいたということがございます。</p> <p>最後の高校のところについては、そういう事務方のやり取りの中で決まったのですが、もしこの委員会の中で、これはやはり戻すべきだという意見になったというところがあれば、再度、担当課に調整をしていききたいと思います。</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>もう1個。一クラス平均の生徒数というのは、これどの学校ですか。小学校、中学校、高校、どの学校の一クラス当たりの生徒数でしたか。</p> <p>中学校ということでございます。中学校の生徒数の指標を挙げております。</p> <p>これはよく分からないのですけれども、これから少子化で子どもの数が減っていくと、例えば何クラスになっても一プラスの生徒の数は40人、30人から40人という数字になるのかと思うので、そういう意味では、クラス数とか、そのほうがより現実的な指標のような気はするのですが、厳しい指標になりそうなので、そこまで書くべきかどうかというのは難しいところがあるのですけれども、この一クラス平均の生徒数はなぜ減らしたのですか。担当課が厳しいというので、これも減らしたのですか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり担当課から削除をということで減らしておりますので、先ほどと同様で、審議会、この委員会のほうで違う指標で管理していこうということございましたら、また再度、調整させていただきます。</p>
D委員	<p>今いる中学校のクラスで言うと、28年か何年かには合併しますと。今合併しないで20何人、合併したら30人にはなるのでしょうかけれども、比べる指標が違うのではないですかね。合併してしまったら30にはなりますよ。</p>
事務局	<p>上がっていた経緯が分かっていないですね。</p> <p>すみません、この数字がどういう経緯で上がって、どういう経緯で落ちたか、はっきりこちらで認識できていません。申し訳ありません。おっしゃるとおり、中学校統合の話が2030年度かな、にあることになりますから、それを見据えて小規模ではいけないということを踏まえて、こういう指標を出したのかなとは思いますが。変更後に上がっていない以上、議論が難しい状態にあります。</p>
会長	<p>この教育のところは、とても大事だと思っていて、そこの指標が市民の意見とか、それから施設の大規模改修の割合とかいうのだと寂しいかなと思っていて、例えば、コミュニティスクールに取り組んでいる学校の数というのはよく分からないのですけれども、そ</p>

事務局	<p>ういう意味では、もう少しこの基本計画の中で言われていることを的確に表せそうな指標が設定できないのかなという気がするのですが、今、安芸高田市のコミュニティスクールは、すべての小学校で導入されているという理解でよかったですかね。</p> <p>設置をしようとしている、だったと思います。今、それに向けた準備がほぼできていて、実施ができるようにしたいねというところです。</p>
C 委員 会長	<p>私はよく分からないのですが、小規模で人数少なくて授業をしてはいけないのですか。それは、そういうことをしている学校もあるのですが、教育委員会がどう考えるかだとは思いますが。</p>
C 委員	<p>パブリックコメントの中に何かなかったのですか。統廃合のこととかいうのは、意見はなかったのですかね。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの中には統廃合云々というところは特にはなかったです。</p> <p>教育委員会の考えでいくと、小学校は小規模でもよいのですが、規模何人以上とかいうことを求めるよりも、通いやすいところに必要だということで、9町単位で1つはいるとしています。中学校のところでは、やはりクラブ活動であるとか集団生活がしっかりできるために、ある程度の規模は必要という考えで、適切な規模以上になるようにということで統廃合の方針が決められたと思います。</p>
C 委員	<p>教育に関して、人数だとかパーセンテージとか、数字のようなもので測ってはいけないと私は思うのですね。どうなのでしょう。</p>
B 委員	<p>私の聞いた話では、ここに書いていた、例えば、挨拶しましたとか、元気になったというのを、全部むしろパーセントで出すように指導されているのです。数字として、例えば、今まで成績が4とか5とかいうのではなくて、挨拶の度合いが数%とか、そういうふうに教育委員会のほうからそういう指示が出ているのですか。</p>
A 委員	<p>中学生を見ていて、スポーツクラブとか、野球部が成り立たないとかサッカー部の人数が足りないとか、チームスポーツをやろうとしたときに、もう人数が足りないので、やりたくてもできないという状況にあるのはかわいそうだなと思って見えています。そこをなんとかしてあげられるといいなと思っています。</p>
事務局	<p>教育のところですけども、今、環境が整っている、教育環境が整っているというのが、両方同じことだと思うのです。大規模改修を終えたところと。計画のほうを見ると、もう目指すところは、自ら自分らしく学び続ける環境とか、子どもたちの多様な選択肢が確保されるような社会を目指すというところを目指すところで、課題としては、統合を控えて、地域との連携のあり方が課題となりますとか、学びの質の向上が課題となっていると書いてある。</p> <p>目指すところに向けて、地域との連携のあり方が課題であれば、そこを見ていかないといけないのではないか。学びの質の向上であれば、学びの質がどう前進したと言えるかという指標を設けるべきではないかなと思います。なので、主要取り組みのところ、校舎の整備とか書いてあるわけなのですが、それはそれでされないといけないことだとは思いますが。せっき目指す姿があって、現状があって、足りないところが課題として出ているわけで、それに対する取り組みが、成果指標として、主要取り組みの指標として見える形にしていく必要があるのではないかなと思います。</p>

会長	<p>そういう意味では、大規模改修を完了した小学校施設の割合というのは、これはおそらく避難所にも指定されていることがあるので、おそらくこれは必須だとは思うのですが、私の暮らしている地域では、教育環境、小中高校が整っていると言われた瞬間に、人によっては、いや、うち高校ないから整っていないと答える人もいるでしょうし、いやいや、そこそこ公共交通機関があるから、うちの町にはないのだけれども、いや、整っているよという人もいるだろうし、この聞き方はうまくしないと、どういうふうにこの値が推移しそうなのかというのが分かりにくいというのは正直思いました。</p> <p>先ほど、中学校の統合の話は多分これから進むのだろうとは、今のお話でも分かったのですが、そうすると、中学校もうちの地域ではないから、整えているとは言えないと答える人が多くなるのかもしれないし、あるいは、いやいや、そうは言っても、スクールバスがちゃんと来ているので、いや、子供たちはちゃんと帰ってから整えてるって答える人もいるだろうし、そういう意味では、この割合だけ見ていくと、ミスリードになりそうな気がするので、指標は指標としてこれで設定していただいていると思うのですが、アンケートのときにそのあたりを配慮して、少しフォローアップしていく必要があるのかなと思いました。</p> <p>今回、2つの指標を落とすのは、これはこれでやむを得ないのかなと私は思うのですが、そういった意味では、コミュニティスクールをこれから頑張っていこうというのであれば、何かそういう指標があったほうがいいのかという気はしましたので、少し教育委員会や担当課とこの辺調整をしていただいていたらいいかないかなと思いました。</p>
C 委員	<p>指標が大切だというのは、それは確かに分かる。見える化するのもよく分かる。分かりますけれども、全部この数字の規模とかいう話ばかり。質の問題、特に教育の場合、質の問題でしょう。隣の山の中の高校などは非常に学力が上がっていて、いい学校ですよ。山の中の学校だけれども。あそこへどんどんみんな行く。結局は、学力があるところに学生は行きたいし、親も行かせたい。大崎上島の中高の学校も学力高い。今は学力を上げることが、私は一番だと思いますよ。その視点がまるでないというのはね、どうなのでしょう。</p>
D 委員	<p>学力のことは一応、議論させてもらったことがあるので、そのときの皆さんの意見は、これは総論で、各論を皆さんが考えますという感じだった記憶があります。</p> <p>ですから、各論はちゃんと皆さんが考えた上で公表されるのですかね。これは総論だから、これはこれで通してしまうのだと。各論で、では、上げるための、どういうことをやるかというのは、この間、では、各論は役場でやると言ったから、各論はやって、それをちゃんと示していただけるのですかね。</p>
事務局	<p>すみません、この間のときというのは。</p>
D 委員	<p>意見をいろいろ出したときに、これに関してはどういうことで、個別のことを書いたときに、それで反映されているところ、反映されていないところもあって、それは、各論的なことは、ここでは話はしないから、各論というのは後で、これは総論、あくまでも大雑把なもので、各論は役場のほうでやるということ。これに限らずすべてです。</p>
事務局	<p>そうですね、一般的な話でいきますと、そういう形になりますので、その各論の部分をどういうふうに皆さんにお伝えするタイミングがあるかということ、例えば、予算として</p>

D 委員	<p>形になったときに、それをこういうことを重点的に取り組みますというのをやって、そこで具体的になっていくという場面はあります。</p> <p>今言ったように、教育を上げないといけない。目標値を上げる。どういうスタンスかというのは、これ総論ではなしに各論を言うわけですね。教育を上げましょう、はいいのですけれども、その手段は何ですかというのが各論になるわけです。その各論をちゃんと示していただける。難しいですよ。よく分かっているのだけれども、そういうのはちゃんとやっていただけるのかが分かるように、こういう方向でやるという具体的な例を挙げてから。</p>
事務局	<p>おそらく教育関係ということでいくと、学校としての目標を教育委員会としてつくるはずで、その中で、市の小学生、中学生の成績はこういう状態になっていて、これをこういうふうにしていきたい、そのためにこういうことをやるというのは出すはず、出しているはずなので、それがいわゆる各論的な部分になるのではないかなと思うのですけれども、そこをどういう計画でどのようなというのは言えません。教育の環境のところの指標のところしていくと、少し中身については協議をしようと思います。例えば、キャリア教育と地域理解の促進というのを重点的に推進する取り組みとして挙がっていたり、地域と家庭がともに営む教育支援というのが挙がっていたりというのがありますので、このあたりで指標を少し考えていこうと教育委員会のほうに伝えて、何らか指標を挙げていきたいと思います。</p>
E 委員	<p>今、市内高校の志願倍率のところ指標にあると思うのですが、今、県がまだ提示していない統廃合計画を出して、呉市長にこういう話を出していないものに対して、かなり今、行政が高校のその県立高校で、安芸高田市として、県立高校、向原高校、吉田高校。市としてどうする気なのだということを見せるようなことがあるのだったら、この志願倍率、これ、1 学年 30 人を切ると、廃止の計画に挙げるといふ県の指針があるので、そこらを管理していこうと思ったら、こういう指標は入れておかないと。</p> <p>どこかで安芸高田市がこの高校のことをどう考えているかというのを、どっちも残す気があるのだったら、どっちも 1 学年 30 人は目標をもって集める計画をしなければいけないのではないかな。この指標から落とすという事態がどうなのかなという。結構、今、自治体が県立高校に対して意見を言うのです。これは県立高校の問題だから市はどうこうできないというような状況ではないと思う。例えば、安芸太田の加計高校などは、行政が寮をつくったりして、今、志願倍率、広島県 1 位です。普通科高校。今 2 つ、安芸高田市にある高校をどうするかというのを行政的に判断するということと、こういうものは残しておかないと、指標で、と思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今の高校のことについては、34 ページのところ。高校の魅力化と卒業後の地域とのつながり構築というところで挙げています。現に今、高校の魅力化のために市として、取り組みを行っているという事実もありますので、それでいくと、委員にも指摘いただいたように、高校の志望者数の増というところは、やはり入れていたほうがいいのだと思います。</p>
E 委員	<p>そうですね。入学者は、広島県が決めていましたね。1 学年 30 人切るようになった場合</p>

事務局	20 人です。
E 委員 会長	20 人、それを切ると廃止になると思います。残していただければ・・・ この教育のところは、少し事務局のほうで持ち帰ってもらって、多分、教育委員会が所管だと思うのですけれども、ご調整をいただくということにさせていただければと思います。
第三次安芸高田市総合計画基本計画（確定案）【資料 4】	
A 委員	国の地方創生の交付金が、2.0 が出てきていて、それ以前の交付金のところで、デジタル実装のところあたりは、安芸高田市は出遅れているところがあるのではないかなと思っています。2.0 になって、また少しメニューが変わっていく中で、この国の指針と沿った形で総合計画に紐づいて事業というのが提案されていくのだと思うのですけれども、そういった中で、国の新たに出た 2.0 と対照して見ていくと、分野として言及がないところがあって、そのあたり、書いていないと、国の交付金とか使えなくなると大変もったいないなと思いました。具体的に言うと、国のほうで言えば、広域リージョン連携というのですか。広く大きな自治体間で連携をして事業を行っていくというような文面のところが、特にこれは分野でいうと 1 のところだと思うのですけれども、行政、政策目標の 1 のところになると思うのですけれども、その広域リージョン連携のようなことを、今でもごみ処理芸北広域環境組合とか、水道のほうも広島県の水道連携、水道広域連合に入っているわけなのですけれども、こういったあたりで、そういったことも大きな枠では捉えているのだというような、そういうところを目指しているのだというようなニュアンスを、総合計画の中で挙げておかないと、そういった事業が今後、使えないのではないか、使えるときに難しくなるのではないかと懸念をしています。このあたりについてご見解を伺いたいと思います。
事務局	基本計画ではなくて基本構想のほうには広域連携の推進を国、県と関係機関との連携強化ということを、計画の推進に当たってというところに入れてあります。これでその要件を満たすと言えるかどうかというところは、確認はしておりませんが、書いてないかという書いてはいる。要は具体的な取り組みというところが、今のところ総合計画として、4 年間のところというところには書き切れていないというのが実態かなと。
A 委員	分かりました。例えば、1 つシステムが変わるごとに、市が単独で予算組んでシステムを変えていたりするのは、国のシステムがあれば、みんな一緒だと思うので、そういったところも共同でシステム改修していけば、コストも下がっていくということで、やっぱり行財政を見ていくにおいて、人口が減っていく中で、広域化というのは避けがたいと思いますし、そうやって生き残っていくべきだと思いますので、そのあたりがしっかり漏れなく国の制度ですね。補助制度をうまく使えるような状況にできているかどうかというのは確認いただいて、問題ないということでしたらこのままで構わないと思うのですけれども、必要であれば、何かしらの対応を行ってほしいと要望いたします。
事務局	分かりました。ありがとうございます。
A 委員	同様の文脈で、GX、グリーントランスフォーメーションですね。このあたりも言及が乏しいのではないかなというところで懸念をしています。国のほうはこちらを進めていこ

事務局	<p>うということ、結構、予算がつくのではないかなと思うのですけれども、このあたりについての認識をお伺いできればと思います。</p> <p>GXという文脈では書きぶりが少し少ないと思います。それに当たるところに書いてあるのは、この冊子でいくと86ページのところにカーボンニュートラルの実現であるとか、循環型社会の推進的なところでそういったことはあるのですが、具体的なGXの取り組みというのが、安芸高田市で計画として書けるほど、今、具体策がないので書いていないということになると思います。実際にやる時は基本計画の見直しというのは適宜、実施していきますので、やる時に、ここに書いていないからということはないように修正をしていきながらというふうになるかなと思います。</p>
A 委員	<p>一言、カーボンニュートラルに向けてGXなどを活用しながら、というような形で取り組みますということで、におわせることはできるのではないかなと思いますので、そのあたりはご検討いただければと思います。</p>
事務局 会長	<p>根本の検討をする部分ということにさせていただきます。</p> <p>今の2.0の話は、むしろ総合戦略に書いていないとまずいのではないですかね。そのあたりはどうなのでしょう。基本計画よりも総合戦略のほうにそういうニュアンスの記述がないと、その対象にならないのではないかなという気がするのですが。</p>
事務局	<p>すみません。おっしゃるとおり総合戦略のほうに書き込んで、それをもって地域再生計画、その補助金、交付金が取れるような形のものを、総合戦略にならった形で書くという形になります。なので、総合戦略のほうに入れたいといけませんが、広域的な取り組みをするというふうに計画に載せるに当たっては、実際にその話がやれそうな動きにならないと載せられないという見解です。例えば、安芸高田市でいくと、広島市の広域都市圏の中に入っていますけれども、その中で、では、広島と三次と一緒にこんなことをやろうという、やるということが具体に出てきたときに修正をした上で、それで取り組むという形でない、ないものはないというか、特に広域市内で完結できないものについては、修正で間に合うのであれば、その時に対応すればよいということを入れていないということがあるようです。</p>
A 委員	<p>修正で間に合うのであれば、その時に対応すればいいのかなと思うのですけれども、この4年スパンでつくられているものなのかなと思うので、そのあたりで見送らざるを得ないような状況になってしまうのは、大変もったいないな、それは避けたいということで、そのあたりのことだけ確認させてください。</p>
事務局 会長	<p>計画の修正については、大丈夫、可能とこれまでの事例からも確認はできていますので、それは適宜、改正をしていくという形でやりたいと思います。</p> <p>そういう意味では、急速に世の中が変化してきていますので、来週になるとどんなことになるか分からない、みたいなのところもあつたりするので、そういう意味では、安芸高田市の置かれている状況も変わったら即、計画を直して、即対応というのがこれから求められるのではないかなと思います。</p>
A 委員	<p>GXというのはグリーントランスフォーメーションということで、環境に配慮した技術とか材料を使って、地球温暖化と環境問題に順応した社会をつくっていきましょうということ。</p>
E 委員	<p>カーボンニュートラルというような意味で。</p>

A 委員 会長	<p>そう、それも含まれています。</p> <p>資料4の24ページなのですけれども、施策分野として文化・スポーツということで、最後に、関連計画等のところにスポーツ振興計画しかないのですけれども、例えば、安芸高田市の神楽というのは、行政計画の中で位置づけがないということなのですかね。文化振興計画だとか、そういう計画というのは安芸高田市、つくられていないのですかね。</p>
事務局 会長	<p>おそらくないです。再度、確認はします。</p> <p>個人的にはつくったほうがいいのではないかなという気がして、おそらくここにいる皆さんも安芸高田の誇りとして神楽というのは僕、あると思うので、これから未来永劫、安芸高田の神楽を守っていくというのは、やっぱり文化振興計画に位置づけて、その中に僕は書き込むべきではないかなと思ったので、ないのだったらいいです、全然。でも、あったほうがいいかなと思いました。</p> <p>それからもう1つ、28ページのところで、同じく関連計画のところで、第4次安芸高田市教育振興基本計画というのが書かれているのですけれども、これが教育委員会がつくられている、その教育に関する、例えば、学校の校長だとか、高大連携だとか、キャリア教育だとかいうのは、もし書かれているのであれば、先ほどの教育のところでご指摘のあった、35ページの関連計画等のところに、この教育振興基本計画ですかね、位置づけていただいて、教育の質の向上だとか、その具体的なことは、この教育振興基本計画の中で位置づけて取り組むのですという説明ができるとスマートかなと思うので、そこは中身をご確認いただければと思います。</p>
<p>第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（確定案）【資料5】</p>	
会長	<p>40ページに、第3次総合戦略の進捗管理ということで、これからこの総合戦略の進捗管理を進めるのですが、ここで言っている進捗管理というのは、これ、毎年これから審議会を開いて、その中で各項目についてどんな事業が動いたのかというのをフォローアップしていく感じになるのでしょうか。そのイメージをご教示いただければと思うのですが。</p>
事務局	<p>おおむね今、会長が言われたとおりで、それぞれの項目で挙げているものについて、どのようなことをやってきたかということ、資料をつくって、それを説明させていただいてということになると思います。指標についても、可能なものは目標からどのようになっているというのも、そういうふうな形で説明します。</p>
会長	<p>ありがとうございました。おそらくまた3月の最後にも、おそらく今後の進め方という項目があったので、そちらでもまた説明があらうかと思います。</p>
F 委員	<p>基本計画になるのか総合戦略のほうになるのか分かりませんが、以前、高齢者福祉計画、介護保険事業計画のときに入らせていただいていたのですが、安芸高田市の事業はとにかく吉田病院を拠点として、いろいろな周辺の町からの洪水とか、すべて吉田病院を中心に考えられていますね。というところから考えると、この吉田病院を、そこは洪水が出たら水浸しになる。そういう状態では困る。また、人口が減っているのもう吉田病院は撤退するよとなると、非常に怖いのだらうと思うのですね。そういったとこ</p>

事務局	<p>ろで、吉田病院を今後どうするかとか、拠点病院としてやはりきちんと安芸高田市は支えていくのだというようなどころを決めていただきたいと思います。</p> <p>今のご指摘は、我々もそのように考えていまして、あそこがなければ安芸高田市の医療の体制が大きく崩れると考えています。この冊子の中では98ページのところに、吉田総合病院の記述も具体的に、現状のところでは、その地域医療体制の整備というところできちんとやっていきます。重要なことというふうなところで捉えて、この部分に記述しています。</p>
D委員 事務局	<p>吉田病院の上にはJAがいっぱいいますので連携よろしくお願いします。 しっかり連携取ってやります。</p>
<p>シンポジウム企画概要【資料6】 シンポジウムチラシ【参考資料3】</p>	
会長 事務局 会長	<p>みんなのチャレンジマップの説明はどこの段階で出てくるのですかね。</p> <p>参考資料1、2で、安芸高田市総合計画一式の説明のときにさせていただきます。</p> <p>イメージはこのページとかいうページがあったら、そこだけでも教えてもらえるとイメージが付きやすいですのですけれども。</p>
事務局	<p>みんなのチャレンジマップは、冊子を今、今回準備させていただいているのですけれども、これの表と裏で構成していまして、裏面がこっちになるので、冊子の裏表紙。裏表紙が、こちらが今回、総合計画を策定する中で、市民アンケート調査であったり、市民と行政の対話集会、総合計画審議会、学生ワークショップ、子育て世代ワークショップ、まちづくりシンポジウムということで、いろいろな行政主導ではなくて、市民選択という形で、いろいろな方の意見を収集してきました。そうした意見を踏まえて芽吹いたという形を裏表紙で表現させていただいていまして、芽吹いた結果、表紙につながる形で、みんなのチャレンジマップということで、行政指導だけではなく、市民の方々の思いを詰め込んだ、これから市として挑戦して、このようなまちを目指していくというところで、みんなのチャレンジマップというビジョンのように整理をさせていただいています。</p>
会長 事務局	<p>基本理念といたしまして、「百万一心、未来へつなぐ安芸高田市」とありますので、この安芸高田市を取り巻くような多様な世代の方々が未来にまなざしを向けているという形で、みんなでやっといこうというところを整理させていただいています。</p> <p>つまり、みんなのチャレンジマップはこの表紙だという理解でいいですか。 表紙の理解です。</p>
A委員 事務局	<p>プログラムの内容なのですけれども、開催目的が総合計画の公表、周知、あるいは、今のチャレンジマップの表紙ということですが、どんなふうに対応するのですか。</p> <p>総合計画の公表、周知につきましては、当日、概要版を皆さんにお渡しするというのと、開会挨拶のときに市長から簡単に概要をご説明いただくというところで、対応を考えています。みんなのチャレンジマップということなのですが、それもこのビジョンイラストをベースに市長にお話しいただくのですが、個別具体のプロジェクトとして、み</p>

	<p>みんなのチャレンジマップに含まれています湯治村であったりとか、吉田高校が提案した「ド田舎高級化プロジェクト」、または向原高校が提案した「向原復興プロジェクト」関連。あとは、地域おこし協力隊の新たな挑戦ということで、ビジョンイラストのところに、周辺に支所の建物を設置して、その周辺に集落支援員の方や地域おこし協力隊の方々が地域の方と話しながらまちづくりを進んでいっているというイメージを想定して入れているところもあるのですが、このイラストに対応する形で、一部の公民連携、みんなのチャレンジマップに位置づけているプロジェクトをパネルディスカッション等々でいろいろ共有させていただくという流れを想定しています。</p>
会長	<p>市が目指す未来、みんなの挑戦の共有。皆さん、個々でいろいろ挑戦されている方がここで、では、発表されるというのは分かるのですけれども、この市が目指す未来の共有という部分は、冒頭の市長のところなのでしょう？</p>
事務局	<p>市が目指す未来については、そうですね、冒頭の市長のところになります。</p>
会長	<p>みんなの挑戦というのは、言葉のあやだだと思うのですけれども、みんなで、それぞれが挑戦しているということで、みんなで1つの何かにチャレンジしているというわけではないのだろうと思うのですけれども、その辺が引かかるなと思う。今日は企画概要ということですので、そういう意見があったということで、少しご検討をいただくと、私もみんなの挑戦の共有というのは、日本語的にどうなのだろうなというのは思ったので、さまざまな主体が行う挑戦をみんなで共有するのだったら分かるのだけれども、その辺の分かりやすい言葉で整理していただければと思います。</p>
	<p style="text-align: center;">第3次安芸高田市総合計画一式【参考資料1】 第3次安芸高田市総合計画概要版【参考資料2】</p>
会長	<p>みんなのチャレンジマップ、おそらく市民の皆さんが見ると分かるのでしょうかけれども、外から来た人間が見るとよく分からないものがあるなど、これ、あえて文字は入れないのですかね。</p>
事務局	<p>あえて文字は入れていないです、</p>
会長	<p>これをベースにみんなでいろいろな話ができるといいなと思いますので。これからもブラッシュアップしていくということになるのかなと思いますので、ひとまず今のみんなのチャレンジマップ2025ではないですけれども、そんな感じだということで、これについては、またご意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
C委員	<p>42ページのグラフというか表というか、あれ、大変うまくまとめられて素晴らしいなと思うのですけれども、非常に読みにくいものですから、ここ変えられるということをおっしゃっていましたが、もう少し分かりやすいような、少しカットしたような、あまり細かなくてもいいのではないかなと思ったりするものでね、見やすいようにしてもらえれば助かるなど。検討してみてください。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。見せ方の部分だと思います。該当ページが基本構想の部分でして、ここは議決されているもので、なかなかもう内容が変えられないところがあるのですが、全般、読みやすさの観点では工夫をさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>多分、多少色合いを変えるとか、そういうのは多分できるのだと思います。</p>

A 委員	大変見やすく、きれいに、このページされたなと思います。先ほどおっしゃっていたのですけれども、やっぱり基本計画とかのところはまだ固いなど見られるので、角の丸い感じのやさしい感じがいいと思います、そのあたりはよろしくお願いします。
E 委員	みんなのチャレンジマップを見ると、結構、郵便局、吉田高校、向原高校はあるけれども、一番肝心な市役所庁舎のイラストがないではないですか。これはどうなのか。吉田病院はあります。吉田病院の下のところ吉田高校がある。郵便局は結構いっぱい載っている。市役所の庁舎のほうがどれなのかなと。中心であるべき。
事務局	大変失礼しました。追加します。
A 委員	夜叉うどんの横の3つのものは、これは。
事務局	これは高宮の鶏をイメージしたのですけれども、デザインがまだでき切れていないところがあって、ちゃんとこれは精緻化されていきますので、もう少し、これデザイン全般まだ途中の、まだブラッシュアップしていきます。鶏のイメージです。
E 委員	郵便局をイメージするのだったら支所をイメージしてほしいです。だって、支所が旧町の拠点、地域になっていくでしょう。
事務局	郵便局のマークが支所のあるところに、その建物に書いてあるのはどうかということを実は最初に伝えたのです。
D 委員	美土里とか高宮とか甲田とかいうのは、支所とか郵便局が近いのですよ。向原もでしょう。新たな28年体制の文化センターの中に入る。八千代など行ったら逆なのです。上根とかに郵便局があって、支所が真ん中にあるの。まさに。非常に難しい書き方なのです。だから、支所があってもいいのではないかと、郵便局よりも。
事務局	地域の拠点ということが分かるようなイメージの絵に少し書き換えます
会長	なかなかチャレンジングな、あまり総合計画の表紙にこういうのはないので、すごくいいのではないかなと個人的には思っていますし、概要版の中でも非常にコンパクトに分かりやすくまとめていただいて、個人的には概要版の5ページから6ページにかけての基本計画の構成はすごく分かりやすいので、それを見れば一目瞭然というか、大きな方向性がすごく分かりやすいのでいいなと思いました。
G 委員	安芸高田市が誇る地域資源の活用というところなのですが、先日、私、郡山城の本丸登っていたのですよ。資源を活用するには道が、歩道もきれいになっていないし、本丸には行けたのですが、見るにしては何かもう少し説明があったり、皆さんが上げられるような状態になったらいいのにと。広場も木が茂っており、そこらも整備したら、資源の活用まで今のところっていないのではないかなと、この間、登って思いました。
A 委員	8ページのところで、重点プロジェクト、概要版ですね、8ページの。重点プロジェクトの上の黒ポチの下、吉田高校が提案する郡山城まるとホテルの検討というのは、これはそんなに重点的なものになっているのですか。
事務局	具体的に前に進んでいるということの代表的なものではないですし、おっしゃるとお

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>り、これなしにするか、別なものを挙げるか、考えたいと思います。</p> <p>概要版の 11 ページと 12 ページに、リーディングプロジェクトと書いてあって、ここでも向原高校が提案した、吉田高校が提案したとかなり具体的に書いてあるので、これを取り組むのであれば、僕は全然いいと思うのですけれども、ここまで書いて大丈夫かなとか思いつつ、それは全然、いや、これで行くのですというのであれば、私は全然いいと思うのですけれども、すごいなと思いました。</p> <p>ここは修正をさせていただくと思います。</p> <hr/>
----------------------	--